



平成30年11月27日

各 位

会 社 名 千代田区永田町二丁目11番1号
アルコニックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 竹井 正人
(コード：3036 東証第一部)
問合せ先 取締役専務執行役員 手代木 洋
経営企画本部長
TEL 03-3596-7400

株式の取得（子会社化）及び中間持株会社設立に関するお知らせ

当社は平成30年11月27日開催の取締役会において、東北化工株式会社の全株式を取得すること、及びその取得において当社100%出資の中間持株会社を設立し、同社が株式取得を行い子会社化することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 株式取得の目的

当社は、中期経営計画のビジョンである「商社機能と製造業を融合する総合企業」を目指し、製造業を中心としたM&Aを推進し業容の拡大に取り組んでおり、現在までに傘下とした国内外6社の製造子会社が生み出す収益が当社グループの連結経営成績に大きく貢献しています。当社は引き続き、製造業の強みである安定した収益基盤の充実と、ニッチでありながら国内外に通用する競争力の向上を目的として当社グループにおける製造業基盤の強化を推進しております。

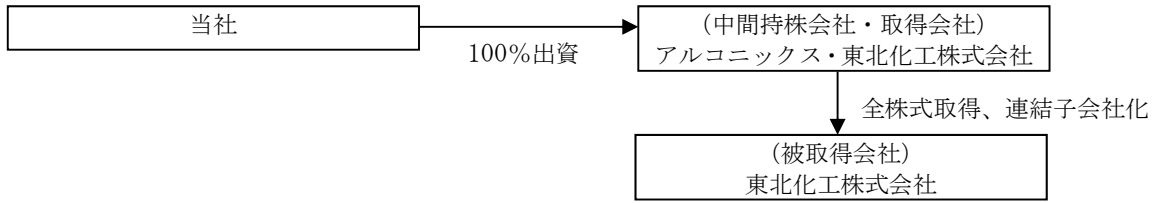
今回、当社が株式を取得する東北化工株式会社は、栃木県那須烏山市に生産拠点を構える摩擦調整材、電波吸収体、機能性インク等を製造するメーカーであります。主要製品である摩擦調整材、カシューパーティクルは、食用として知られるカシューナッツの殻から抽出する殻液を主原料とした樹脂を粉末状にしたものです。この天然素材から、「安全に止める技術」を生み出すというビジネスモデルを同社は展開しております。この天然素材は、摩擦安定性、耐摩耗性の向上等において、二輪車、四輪車のブレーキ・クラッチ、高性能自転車、鉄道用制輪子、各種産業機械の摩擦材に不可欠な材料であり、同社は独自ノウハウと技術開発力を梃子に、ハイパフォーマンスの摩擦調整材を国内のほぼすべてのブレーキ摩擦材メーカーに納入しております。

当社は今回の同社株式取得により、ブレーキ関連市場への参入を果たす他、当社の海外ネットワークを利用した新たな展開が可能となります。カシューナッツは適度な降雨量のある熱帯地域ないし亜熱帯地域で栽培されていることから、同社は2000年代前半にベトナムに主力原料生産およびミドルパフォーマンス製品生産の拠点を構えております。今後四輪車生産およびその部品生産の伸長が期待される東南アジア・南アジアへ、同社のベトナムで生産されております一部製品を当社海外拠点の機能を利用して輸出するというシナジーも見込まれます。この結果、製造業と海外事業の更なる展開により新たな企業グループを目指す当社グループの、連結ベースにおける企業価値向上に資するものと考えています。

2. 株式取得スキームの概要等

東北化工株式会社の株式取得に際しては、当社100%出資で設立する中間持株会社のアルコニックス・東北化工株式会社（仮称）が株式を取得し同社を連結子会社化いたします。当該中間持株会社による株式取得というスキームを用いる理由は、当社単体財務諸表の長期的な投資勘定圧縮と資金効率向上を目的として、当該株式取得価額をそのまま計上することを避けるためであります。

【株式取得後の体制】



3. 設立する中間持株会社の概要

- (1) 商 号 アルコニックス・東北化工株式会社（仮称）
- (2) 代 表 者 代表取締役 手代木 洋
- (3) 所 在 地 東京都千代田区永田町2丁目11番1号
- (4) 設 立 年 月 日 平成30年12月
- (5) 主 な 事 業 の 内 容
 - ・カシュー樹脂（ブレーキ摩擦材等）並びにカシュー応用製品の製造及び販売
 - ・電波吸収体、機能性インクの製造及び販売
 - ・前各号に附帯する一切の事業
- (6) 決 算 期 3月31日
- (7) 資 本 金 の 額 50百万円
- (8) 発 行 予 定 株 式 総 数 250,000株（株式不発行）
- (9) 大 株 主 構 成 及 び 所 有 割 合 アルコニックス株式会社 100%

4. 中間持株会社が株式取得をする会社の概要（平成30年11月27日現在）

- (1) 商 号 東北化工株式会社
- (2) 代 表 者 代表取締役 石津谷 広孝
- (3) 所 在 地 栃木県那須烏山市藤田1200
- (4) 設 立 年 月 日 昭和36年10月14日
- (5) 主 な 事 業 の 内 容
 - ・カシュー樹脂（ブレーキ摩擦材等）並びにカシュー応用製品の製造及び販売
 - ・電波吸収体、機能性インクの製造及び販売
 - ・前各号に附帯する一切の事業
- (6) 決 算 期 3月31日
- (7) 従 業 員 58人
- (8) 主 な 事 業 所 栃木県那須烏山市（本店及び工場）
海外拠点（ベトナム、インドネシア）
- (9) 資 本 金 の 額 125百万円
- (10) 発 行 済 株 式 総 数 250,000株（株式不発行）
- (11) 大 株 主 構 成 及 び 所 有 割 合 株式会社エフ・シー・シー 100%

(12) 上場会社と当該会社との関係	資 本 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社との関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社との関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。

	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。
--	------	--

(13) 最近事業年度における業績の動向

	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期	平成 30 年 3 月期
売上高	1,711 百万円	1,686 百万円	1,743 百万円
営業利益	42 百万円	110 百万円	128 百万円
経常利益	44 百万円	121 百万円	134 百万円
総資産	1,932 百万円	2,051 百万円	2,159 百万円
純資産	1,545 百万円	1,623 百万円	1,710 百万円

5. 株式取得の相手先の概要 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

- (1) 商号 株式会社エフ・シー・シー
- (2) 代表者 代表取締役社長 松田 年真
- (3) 所在地 静岡県浜松市北区細江町中川 7000 番地の 36
- (4) 設立年月 昭和 14 年 6 月
- (5) 主な事業の内容
- ・自動車・オートバイ・汎用機・その他のクラッチ製造、および フェーシング・触媒の製造
 - ・各種生産設備・各種金型（ダイキャスト、プレス）の製作
- (6) 資本金 4,175 百万円
- (7) 総資産 94,930 百万円（平成 30 年 3 月期個別）
- (8) 純資産 69,385 百万円（平成 30 年 3 月期個別）
- (9) 大株主構成及び所有割合 本田技研工業株式会社 21.7%
株式会社 SMBC 信託銀行 5.0% 他

(12) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。

6. 中間持株会社が取得する東北化工株式会社株式の株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権所有割合 0%)	
(2) 取得株式数	250,000 株 (議決権所有割合 100%)	
(3) 異動後の所有株式数	250,000 株 (議決権所有割合 100%)	
(4) 取得価額	東北化工株式会社の普通株式	2,600 百万円
	アドバイザリー費用等 (概算)	30 百万円
	合計	2,630 百万円

7. 株式取得までの日程

平成 30 年 11 月 27 日		取締役会決議（中間持株会社の設立及び東北化工株式会社株式取得の決議）
		株式譲渡契約書の締結
平成 30 年 12 月中旬	（予定）	中間持株会社の設立
平成 30 年 12 月下旬	（予定）	中間持株会社による東北化工株式会社の株式取得

8. 今期の業績見通しに与える影響について

当社は、平成 30 年 12 月中旬に中間持株会社を設立し、同社による東北化工株式会社の株式取得及び連結子会社化は同年 12 月下旬を予定しております。また同社の子会社化による当社連結業績への取込みは平成 31 年 1 月 1 日を見なし取得日とする予定であることから第 4 四半期からの取込みとなります。本件株式取得による平成 31 年 3 月期通期連結業績予想への影響につきましては現在精査中であり、今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上